

# 社会資本総合整備計画の 事後評価について

計画の名称

「藤沢市西北部地域における公園づくり」

都市整備部 西北部総合整備事務所

# 目次

- 1 社会資本整備総合交付金について
- 2 「藤沢市西北部地域における公園づくり」の概要について
- 3 事後評価について

# 1 社会資本整備総合交付金について

## 社会資本総合整備計画

地域が抱える課題を抽出・目標を設定

インフラの整備・基幹事業

道路事業

公園事業

下水道事業

市街地整備事業

都市再生整備計画事業

関連する事業

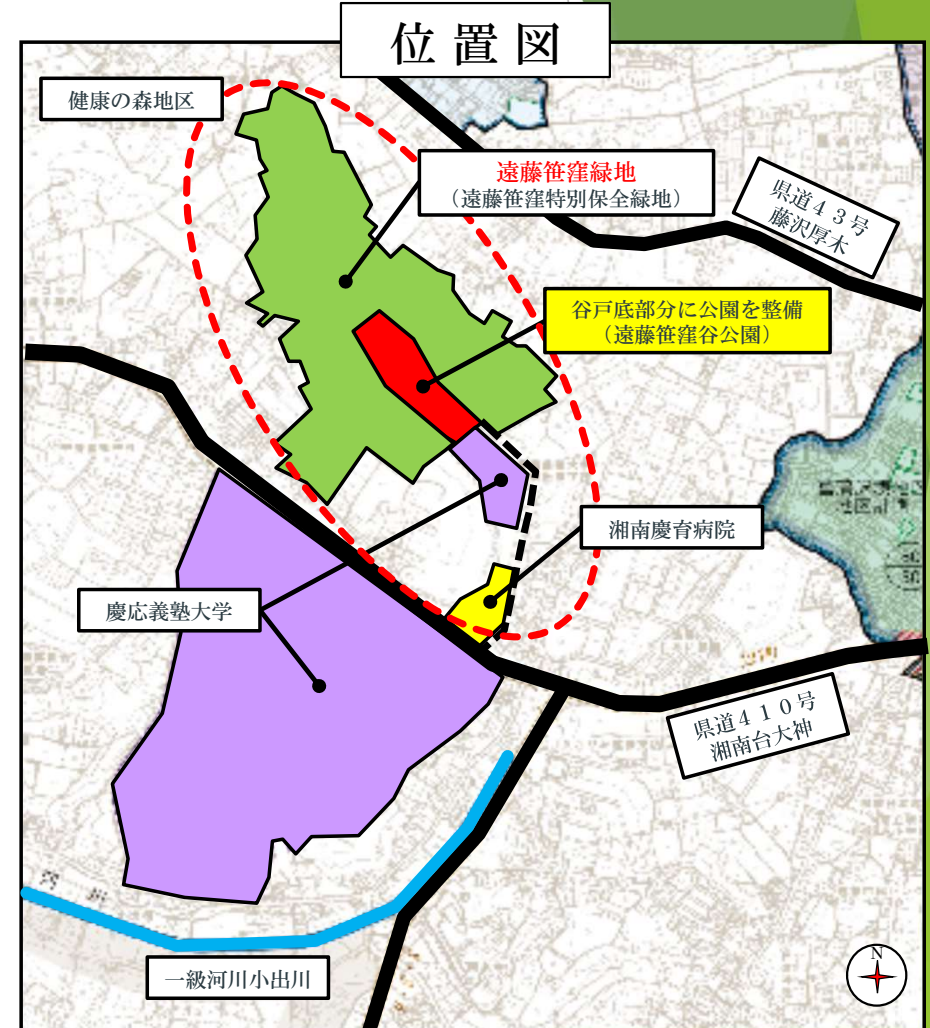
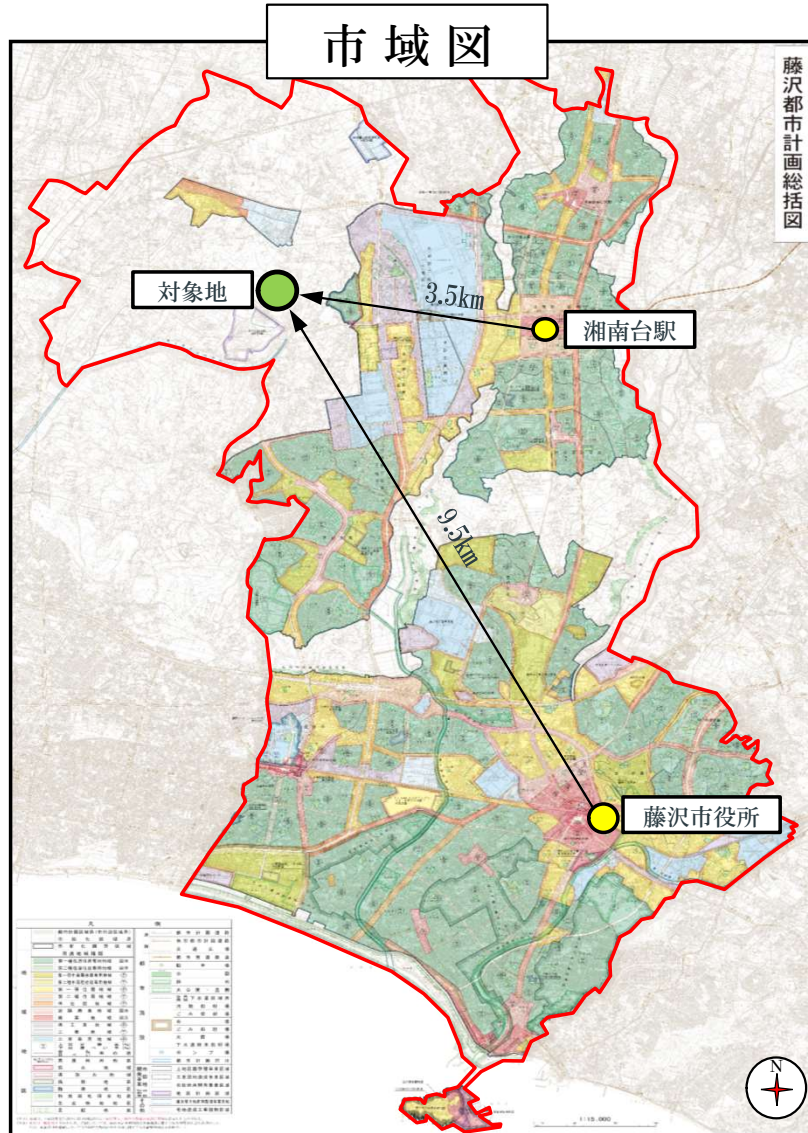
効果を促進するための事業

計画を国へ提出

事業の実施

事後評価

## 2 「藤沢市西北部地域における公園づくり」の概要について



## 2 「藤沢市西北部地域における公園づくり」の概要について

航空写真



谷戸風景

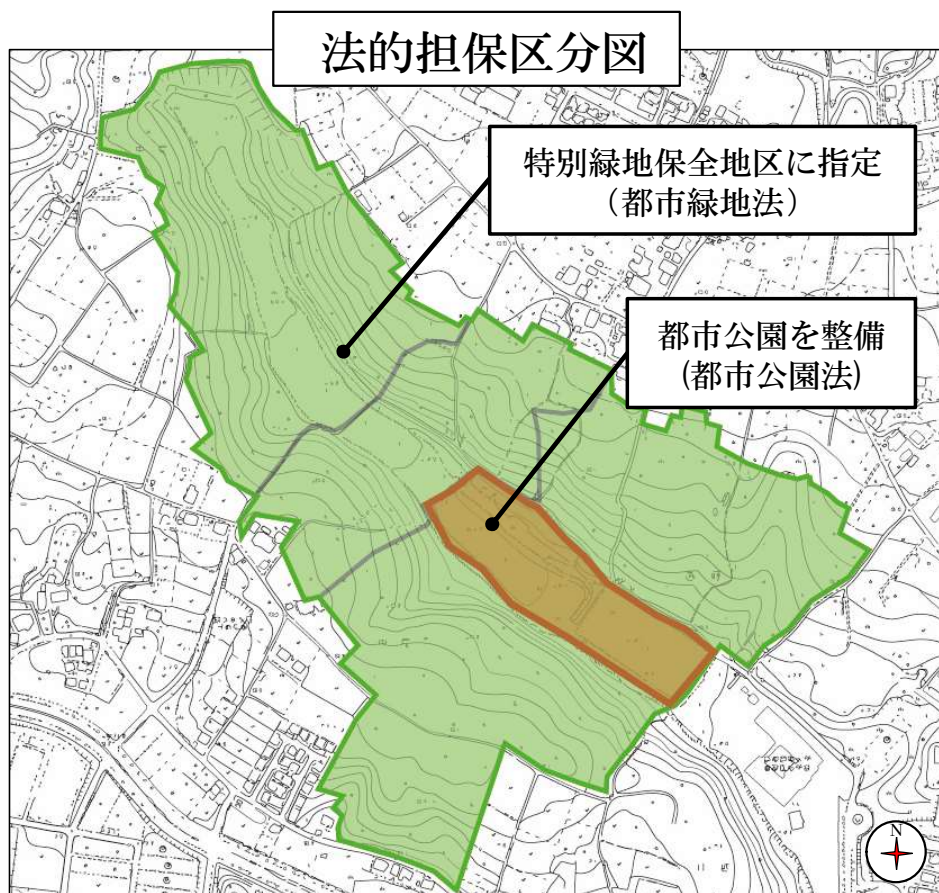


## 2 「藤沢市西北部地域における公園づくり」の概要について

### 遠藤笹窪緑地の経過

平成20年度～	緑地のあり方に関する検討開始
平成22年度	健康の森基本構想（平成22年8月策定）
平成23年度	健康の森基本計画（平成24年3月策定）
	「自然環境の保全及び自然環境を活かした 地域活性化を図る区域」に位置付ける
	健康の森管理運営協議会を設置
平成27～28年度	ワークショップ開催（5回開催）
平成28年度	遠藤笹窪緑地保全計画策定（平成29年3月策定）

## 2 「藤沢市西北部地域における公園づくり」の概要について



「特別緑地保全地区と都市公園に分けて管理する」

「谷戸床部分に遊水機能を付加する」

遠藤笹窪緑地保全計画(平成29年3月策定)

## 2 「藤沢市西北部地域における公園づくり」の概要について

### 公園施設整備の経過

平成29年度

公園基本設計実施

平成30年度

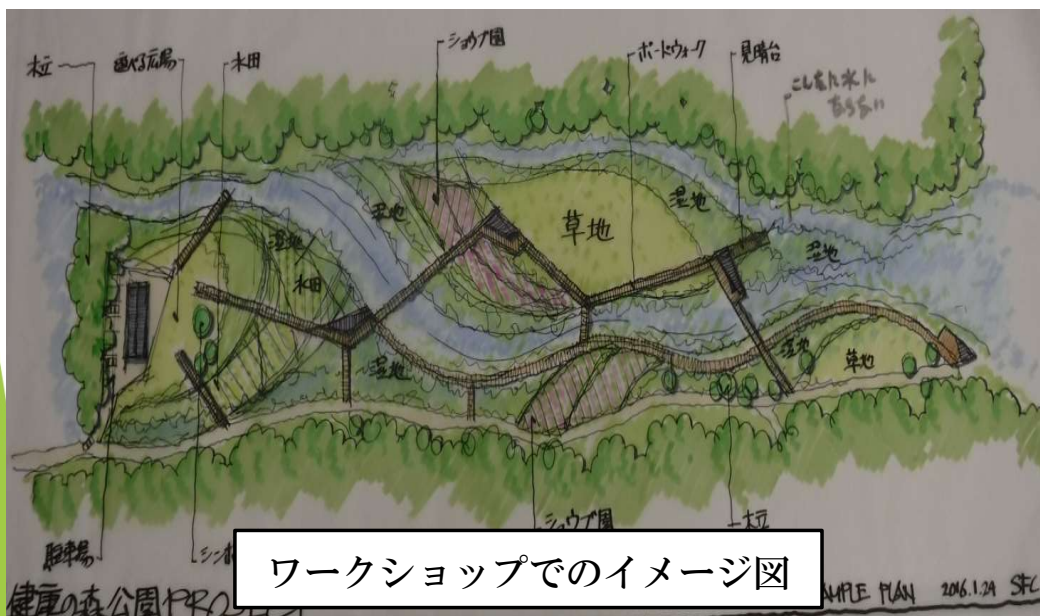
公園詳細設計実施

令和元年～3年度

公園整備工事実施

令和4年7月16日

一般供用開始





## 2 「藤沢市西北部地域における公園づくり」の概要について

### 公園施設の概要

規模・種別	2.46ha（東西約300m・南北約80m）・特殊公園（風致）
園内施設	舗装、照明、駐輪場、障がい者等用駐車場、ベンチ、樹木、芝生、植栽 小川、ウッドデッキ、菖蒲池、雨水調整池（最大貯留量11,000m <sup>3</sup> ）
管理棟	施設名称「生物多様性サテライトセンター」 平屋建て 延床面積 232.90m <sup>2</sup> 事務室、トイレ、倉庫、多目的室、展望デッキ



## 3 事後評価について

### 事後評価の評価事項について

#### 第3条 社会資本総合整備計画の評価について

4 中間評価及び事後評価は次に掲げる事項について行うものとする。

- 一 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況
- 二 事業効果の発現状況
- 三 事後評価にあっては評価指標の最終目標値の実現状況
- 四 今後の方針

「社会資本整備総合交付金に係る計画等について  
(令和3年3月30日改正)」より

### 3 事後評価について

## 社会資本総合整備計画について

計画の名称 藤沢市西北部地域における公園づくり

計画の期間 令和元年度から令和3年度（3箇年）

計画の目標 遠藤笹窪谷（谷戸）は、緩やかで解放感のある一筋の谷戸地形が市内最大規模で広がる藤沢市西北部地域を代表する谷戸です。  
本市に残された貴重な自然環境を保全しつつ、その谷戸底の一部を活用し、地域活性化に資する施設として誰もが安全で安心して利用することができる公園づくりを目標とする。

### 3 事後評価について

## 社会資本総合整備計画について

計画期間内における全体事業費

(計画当初) 460,000千円

計画の成果目標（定量的指標）

市民1人あたりの公園面積

(当初現況値) (最終目標値)

4.34 m<sup>2</sup>/人 ⇒ 4.40 m<sup>2</sup>/人

市民1人あたりの公園面積 = 全公園面積 / 全市人口

### 3 事後評価について

## 計画の期間と全体事業費について

上段：事業費 下段：(国庫補助金) (単位：円)

R 1	R 2	R 3	全体事業費
128,250,100 (29,784,000)	89,483,900 (38,000,000)	242,110,000 (90,000,000)	459,844,000 (157,784,000)
・造成工事	・歩行者デッキ工事 ・電気施設工事 ・水道施設工事	・公園施設工事 ・建物建築工事	

公園整備に関する金額 378,444,000円  
建物整備に関する金額 81,400,000円

### 3 事後評価について

## 計画の成果目標（定量的指標）の達成状況について

市民1人あたりの公園面積  
（当初現況値）                      （最終目標値）  
4.34 m<sup>2</sup>/人 ⇒ 4.40 m<sup>2</sup>/人

#### 【当初現況値】

全公園面積    :    1,873,208.57 m<sup>2</sup>

全市人口        :    431,752人（平成30年12月1日時点）

$1,873,208.57 \text{ m}^2 / 431,752 \text{ 人} = 4.338 \div 4.34 \text{ m}^2/\text{人}$

#### 【最終実績値】

全公園面積    :    当初値に遠藤笹窪谷公園の整備面積（24,640.46 m<sup>2</sup>）を足した面積

$(1,873,208.57 + 24,640.46) / 431,752 \text{ 人}$

$= 4.396 \div 4.40 \text{ m}^2/\text{人}$

### 3 事後評価について モニタリング調査の実施

調査時期 令和5年9月から12月まで

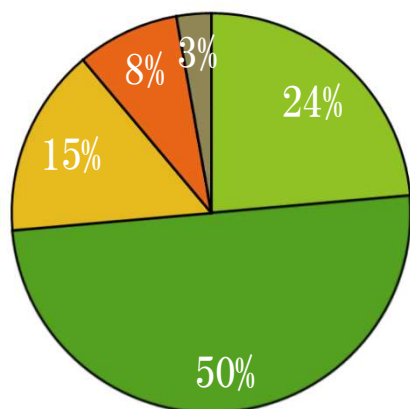
サンプル 72人

調査項目 ①：何人で来園したか ②：来園者の構成 ③：来園時間  
④：滞在時間 ⑤：居住地 ⑥：アクセス方法  
⑦：公園を知った方法 ⑧：来園回数  
⑨：公園の印象 ⑩：サテライトセンターの印象  
⑪：自然環境について ⑫：地域活性化について  
⑬：園内の安全性について ⑭：園内にほしい施設  
⑮：フットパスについて ⑯：また来園したいか

以上16項目

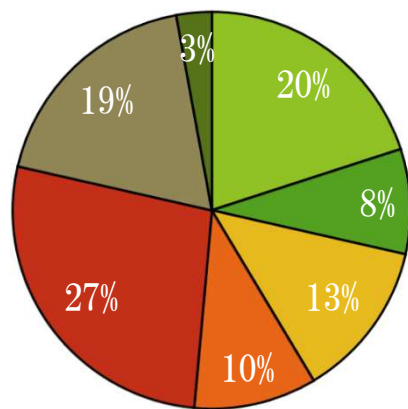
### 3 事後評価について モニタリング調査の実施

①:何人で来園したか



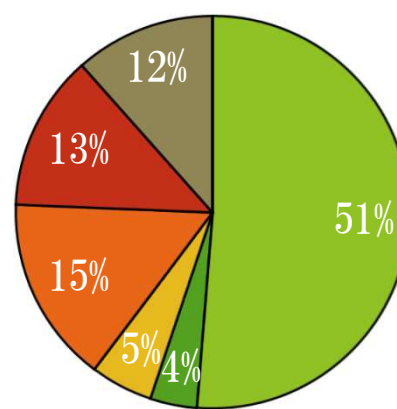
● 1人	24%
● 2人	50%
● 3人	15%
● 4人	8%
● 5人	0%
● 6人以上	3%

⑤:居住地



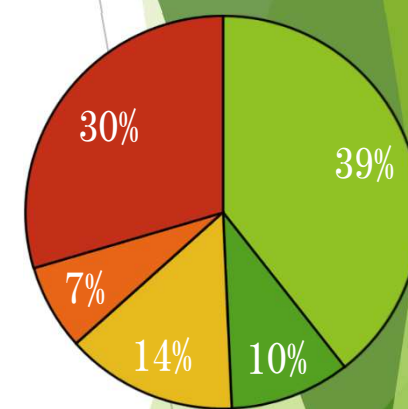
● 遠藤地区	20%
● 御所見地区	8%
● 鵜沼地区	13%
● 六会地区	10%
● その他市内	27%
● 県内	19%
● 県外	3%

⑥:アクセス方法



● 自家用車	51%
● バイク	4%
● 自転車	5%
● 徒歩	15%
● 電車	13%
● バス	12%

⑧:来園回数

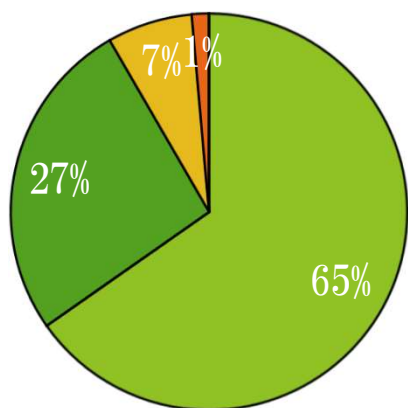


● 初めて	39%
● 2回目	10%
● 3回目	14%
● 4回目	7%
● 5回以上	30%



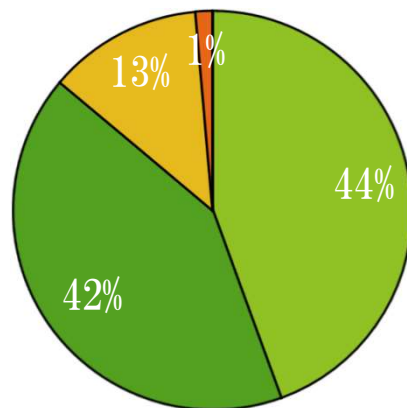
### 3 事後評価について モニタリング調査の実施

⑨：公園の印象



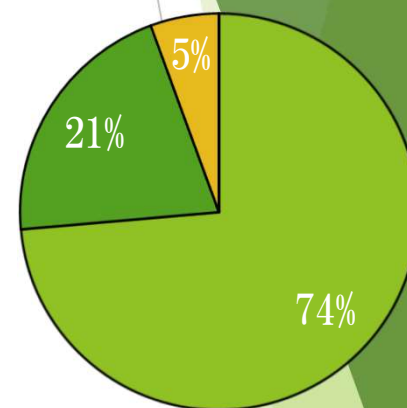
● とても良い	65%
● 良い	27%
● どちらでもない	7%
● 悪い	1%
● とても悪い	0%

⑩：サテライトセンターの印象



● とても良い	44%
● 良い	42%
● どちらでもない	13%
● 悪い	1%
● とても悪い	0%

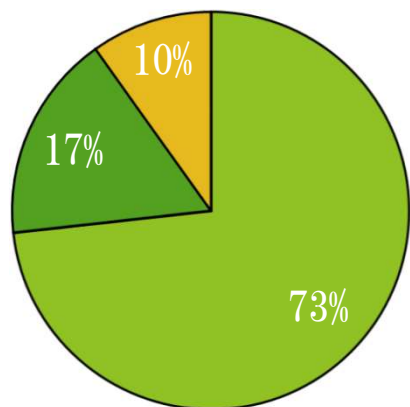
⑪：自然環境について



● とても感じた	74%
● 感じた	21%
● どちらでもない	5%
● 感じられない	0%

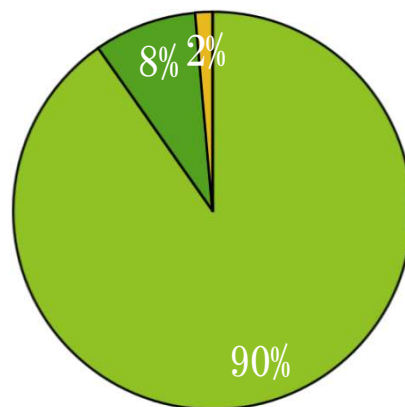
### 3 事後評価について モニタリング調査の実施

⑫：地域活性化について



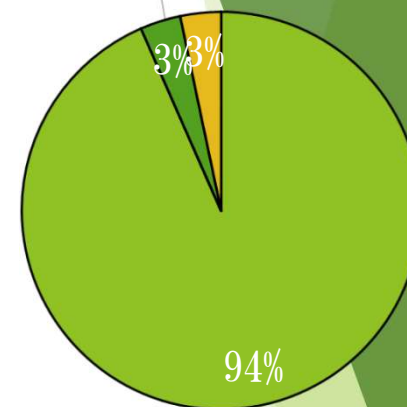
- 繋がる 73%
- どちらでもない 17%
- 繋がらない 10%

⑬：園内の安全性について



- 保たれている 90%
- どちらでもない 8%
- 保たれていない 2%

⑯：また来園したいか



- 来園したい 94%
- どちらでもない 3%
- 来園したくない 3%

### 3 事後評価について 事業の発現効果

1. 来園者へのモニタリング調査から、計画の目標である「自然環境の保全」「地域活性化に資する施設の整備」「安全で安心して利用できる公園」について、概ね達成していると考察できる。
2. 公園内への雨水調整池整備により「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づく浸水対策が進み、下流域で頻発している浸水被害の軽減が図られた。



### 3 事後評価について 事業の発現効果

3. 公園については、令和5年度から指定管理者による管理を開始し、菖蒲池の管理については地元有志で組織された市民団体や地元の中学校生徒が参加することで協働による管理体制が構築された。



地元中学生による植え付けの様子



開花した花菖蒲

### 3 事後評価について 事業の発現効果

4. 生物多様性サテライトセンターにおいて、開園以来、定期的に自然観察会や研修会を実施し、生物多様性に関する市民の理解が深まった。

利用実績：令和5年4月1日の供用開始以来、12月末時点で25回



サテライトセンター内での講義の様子



公園内での自然観察会の様子

### 3 事後評価について

#### 今後の方針について

遠藤笹窪谷公園は、藤沢市生物多様性地域戦略における取組を継続させるため、SDGsの考えを踏まえ、生物多様性の「保全・創出」や「持続可能な利用」を実現する人材を育成させる場として、また、本市西北部地域の活性化や観光振興に資する場として、利用者や市民団体の意見を聞きながら適切な管理に努め、より一層愛される公園を目指します。